

服用前にこの説明文書を必ず読むこと。
また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。

第②類医薬品

解熱鎮痛薬

ツェシン®

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

- 次の人は服用しないこと
 - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと
（眠気等があらわれることがある。）
- 服用前後は飲酒しないこと
- 長期連用しないこと



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 授乳中の人。
 - 水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザに罹っている又はその疑いのある乳・幼・小児（15歳未満）。
 - 高齢者。
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（ステイブンス・ジョンソン症候群）、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害*	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢、尿量減少等があらわれる。

間質性肺炎*	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- 2) 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
15歳以上	1 包	1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用すること。 服用間隔は6時間以上おくこと。
11歳以上15歳未満	2/3包	
8歳以上11歳未満	1/2包	
5歳以上8歳未満	1/3包	
3歳以上5歳未満	1/4包	
3歳未満	服用しないこと	

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
(2)用法・用量を厳守すること。

成分・分量、作用 1日量2包中に次の成分を含む。

成 分	2 包 中	主 な 作 用
アセトアミノフェン	600mg	痛みをおさえ、熱をさげる
エテンザミド	600mg	痛みをおさえ、熱をさげる
プロムフレリル尿素	192mg	痛みによるいらいらを和らげる
無水カフェイン	192mg	頭痛を和らげる

添加物：タルク、トウモロコシデンプン、メタケイ酸アルミン酸Mg、ヒドロタルサイト

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる。）。
- (4)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。
- (5)配置期限を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先
田村薬品工業株式会社 お客様相談室
06-6203-5151
受付時間 10:00～17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元

田村薬品工業株式会社
奈良県御所市西寺田50